

# 肝臓内科からのお知らせ

当科における肝がん局所療法は、ラジオ波焼灼療法から新規次世代マイクロ波凝固療法に切り替えています。

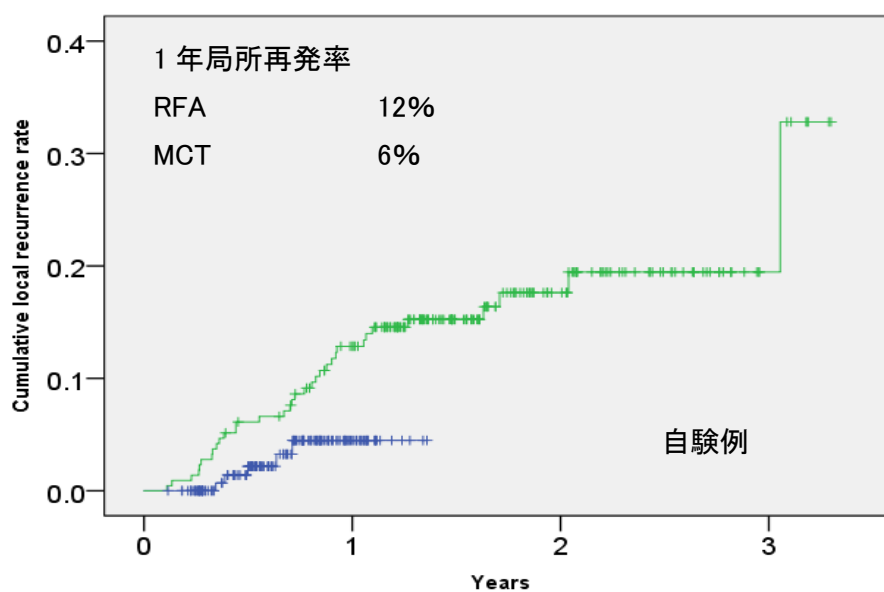
- ▶ 当科では、2017年12月より、和歌山県下で初めて次世代マイクロ波治療を導入し、すでに300個を超える肝がんを治療しました。日本でトップクラスの症例数です。
- ▶ 新規次世代マイクロ波（Emprint™）の特徴  
従来のラジオ波よりも、高温で、球形に、短時間で治療できます。  
（3～4分で3cm熱凝固が可能です）



- ▶ 従来のラジオ波よりも確実性が高く、転移性肝がんにも高い効果が期待できます。



- ▶ 3cm 以内の肝細胞癌において、従来のラジオ波と比較すると、安全性に有意差なく、局所再発率が有意に低下しました ( $p < 0.01$ )。



	ラジオ波 (n=219)	マイクロ波 (Emprint) (n=182)	P
出血	8 (4%)	6 (3%)	0.847
胆管損傷	15 (7%)	6 (3%)	0.113